

特集

# 心身障害児者の生活を支える地域の役割

障害児者や家族が暮らしやすい地域とは ————— 藤田雅子

心身障害児者が地域で暮らせる体制づくり ————— 佐藤幸子, 小笠原梢

医療依存度の高い脊髄性筋萎縮症患者の支援から生まれた  
地域のネットワークと施策 ————— 高奥幸枝

知的障害児者の生活支援 性やコミュニケーションを中心に ————— 山本良典

## 編集後記

●アメリカ発の経済異変と同様、政治面の異変も影響して、「チェンジ」ならぬ「政権交代」が起き、新内閣が発足した。これからさまざまな制度変更や調整があり、あらたな秩序のもとに世の中は進むのだろう。国会の議員会館売店で「祝・政権交代記念 紅白まんじゅう」なるものが販売されたというが、本当に、戦後政治上初めての2大政党間の政権交代、大きな出来事だったのだな、と思う。

「政権交代」よりも肝心なことは、世の中を暮らしやすくすること、人々にとって暮らしやすい世の中にあることだろう。高速道路無料化、高校無償化、子ども手当で支給、等々、派手なことが目立っているが、現実には多くの財源が必要になる。後期高齢者医療制度廃止とそれに代わる新たな制度の構築、年金問題、新型インフルエンザ対策もあるだろう。

何事にも言えることだが、とにかく早く情報をオープンにして、国がすべきことと個人で準備するべきことを明示してもらいたいものだ。国が何でもやってくれるわけではないことを、われわれは既に十分知り尽くしているのだから。  
(杉之尾)

●弊誌 2003 年 9 月号の特集テーマは「HIV/AIDS とのつきあい方」でした。このときは HIV 感染予防・啓発などに焦点をあてましたが、約 6 年振りとなった今月号の特集では療養支援に注目しました。小田原論文のなかで、「自分が罹るなら糖尿病と HIV 感染症とどちらがより嫌か」という興味深い記述があるように、HIV 陽性者の予後は大幅に改善されていますが、同時に長谷川論文の「HIV 感染症は本当に慢性疾患になったのか？」という問いも重要だと感じます。本特集を企画するにあたってお話しさせていただいた、ある保健師の方は、ゲイバー（同性愛者が集うバー）に行き、ママ（店主）とコミュニケーションをとることで、彼らの性行動などの情報を得たことがあるそうです。日高論文にあったように、ゲイ男性は社会的な偏見を恐れ、異性愛者を装うことがしばしばあるため、同性愛でも異性愛でもいろいろな人がいるという当たり前さを実感できる貴重な機会になります。●11月26日から開催の第23回日本エイズ学会学術集会・総会は、ご執筆いただいた市川先生が会長を務められます。保健師の皆さまも奮ってご参加ください。  
(長谷川)

保健師ジャーナル 第65巻11号 2009年11月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2009年年間購読料(税込、送料弊社負担)15,000円、電子ジャーナル閲覧オプション付20,000円

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600

保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/杉之尾・長谷川・伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

**JCOPY** (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。1348-8333/09/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY 宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示の提示をお願いいたします。